



# 実現しました 住宅リフォームへの助成 工事費の1割、上限5万円

## すずかみんぼう

第135号  
2012年4月

### 日本共産党鈴鹿市議団 市議会の報告



石田秀三 市議

鈴鹿市の2012年度予算に、「緊急経済対策住宅リフォーム促進事業費」3000万円が計上されました。この事業は、市民が居住する住宅のリフォームを、市内業者に発注した場合に、市が工事費の1割を助成するものです。1件10万円以上で行なう自宅の修繕、補修のための工事、壁紙の張替えや畳替えなども対象になります。

石田秀三議員は10年12月議会、11年3月議会の2度にわたり、全国に広がる住宅リフォーム助成制度を紹介し、経済不況にあえぐ市内中小業者や職人さんの仕事つくりのために、鈴鹿市でも実施することを提案してきましたが、やっと新年度予算で実現となりました。

実施方法は、4月に広報などで市民に事業内容をお知らせし、5月に申し込み期間を設けて受け付け、助

成を決定してから着工、工事完成後に支払いとなります。リフォームを予定、検討している多くの市民が、この助成制度を利用することが期待されます。

## 中学校給食センター 14年完成に向けてスタート

市内10中学校で完全給食を行なうための給食センターの建設がスタートします。センターの建設場所は稲生4丁目で、12年度は用地費、基本・実施設計、また給食を受け入れる各学校の配膳室の設計などに、2億7千万円余が予算化されました。

市内10中学校で完全給食を行なうための給食センターの建設がスタートします。センターの建設場所は稲生4丁目で、12年度は用地費、基本・実施設計、また給食を受け入れる各学校の配膳室の設計などに、2億7千万円余が予算化されました。



準備が進む給食センター予定地 (稲生4丁目)

末松市長は3月議会での施政方針の中で、給食開始時期を「遅くとも平成27年4月」としましたが、共産党市議団は、「今年入学する生徒が卒業までに食べられるように」開始時期を前倒しすることを求めています。

### 小学校給食、 自校方式はなくしません

鈴鹿市の小学校での給食

今回の中学校給食センターの規模の議論の中でも、小学校のセンター化も入れるかどうかを検討されましたが、結論として新給食センターは中学生と教職員合わせて6400食の規模とされました。そして自校方式の学校はこれまでどおりとされ、「センター化」計画はなくなりませんでした。今後は、老朽化する各校の給食室の計画的な改築が課題となります。

## 介護保険料、34%もの大幅値上げ

介護保険を担当する鈴鹿市をかけるものです。

月5000円以下におさえる努力を

3月議会で森川ヤスエ議員は、値上げの要因として①国が負担すべき費用25%をへらして高齢者の負担に上乗せしている、②市が行なうべき介護予防事業の費用を介護保険に入れている、③払えない人の分を保険料に算定している、をあげ、市として財政支援することで保険料を月5000円以下にする努力を求めました。

### 介護保険料の所得段階別比較表 (月額・円)

所得段階	所得要件 (年金収入)	第4期保険料	第5期保険料
1	生活保護・福祉年金	1,603	2,151
2	世帯非課税・80万円以下	1,603	2,151
3	世帯非課税・120万円以下	3,005	3,388
4	世帯非課税	3,005	4,033
5	世帯課税・80万円以下	3,326	4,463
6	世帯課税・本人非課税	4,008	5,377
7	本人課税・125万円未満	4,328	5,807
8	125万円以上	5,010	6,721
9	190万円以上	5,610	7,528
10	300万円以上	6,011	8,066
11	600万円以上	7,013	9,410
12	1000万円以上	8,015	10,754



